



広報 **あくね**

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行  
昭和53年2月10日 鹿兒島県阿久根市役所編集発行1部10円

世帯数と人口 (1月1日現在)	
世帯数	9,286(+9)
人口	30,561(+40)
男	14,203(+1)
女	16,358(+39)
( )内は前月比	



2月号

## 炭を焼く

尾崎 尾崎住義さん

つめたい冬の朝も、きらきら光る霜柱を踏みしめて、人里離れた炭窯に急ぐ。炭を焼いて五十三年、ひとりで原木を切り倒し、玉切りにして釜につめ、煙の具合をみつめながら火をたいて、「よし、今度もよい炭ができるぞ」と確信を得る。

戦時中はよく焼いたものですが……と若い頃を語る尾崎さん。もう七十三歳、ふしくれ立った手のソワは煎茶のように光っていた。

この道を行く

①

主な内容

どうなる米の生産調整	2
松田進さんの市林	3
消防出初め式	4
東源蔵さん持碑建立	4
第3回社会教育大会	5
浜町、エビス祭	6
阿小で親子駅伝	7
歳末たすけあい報告	8



# どうなる米の生産調整

## 目標面積 63 万ハ

五十三年度全国で百七十万ハの余  
 剰米を調整するために、ほぼ九州全域の水  
 田に相当する面積に大豆・麦・飼料作物などへ  
 転換する対策がすすめられています。その名  
 も「水田利用再編対策」、この対策がどのよ  
 うなものかを考えてみることにします。

### 自主的転作に期待

阿久根市は米の消費地で市内の  
 生産量では消費を満せず、しかも  
 主な水田地帯の大部分は溜田であ  
 り、このような条件のなかで水田  
 利用再編対策をすすめることは問  
 題もありますが、農協など関係機  
 関団体と密接な連絡をとり合いな  
 がら、さしあたり次の要領で米作  
 農家の自主的な転作をすすめても  
 らうことにしています。

①転作可能な水田地帯に集団的  
 に転作をすすめます。このために  
 農業構造改善事業では調整備をし  
 た地区や稲作転換特別対策事業な  
 ど国や県の補助事業を実施した地  
 区には特に協力を求め他作物への

転作をすすめてもらいます。

②市内の公務員で米を作ってい  
 る方は、国県市の方針に協力して  
 いただくようお願いいたします。

③今後水田のは場整備をすすめ  
 る地帯では、水田利用再編対策に  
 あわせて工事の時期や方法を検討  
 しながら実施することにします。

④農協の管理転作については農  
 協と相談しながら実施します。

四万九千円（十アール）補助金

阿久根市に示された転作目標面  
 積は六十三万ハですが五十二年度の  
 転作実績は三十三万ハで五十二年  
 度実績に比べて一・九倍で大字多田  
 の水田耕作農家の全面積を転作し

たいへん頭の痛い対策です。

しかし転作を実施した面積に依  
 じて奨励金が出るのは魅力です。  
 奨励金は転作物の種類によって違  
 いますが、特定作物（大豆・麦類  
 飼料作物）、永年作物は十、四万九  
 千円、一般作物（野菜など）は三  
 万四千円となっています。

更に地域ぐるみ計画転作に対し  
 ては十、七千円から二万円の範囲  
 内で加算されます。

### 転作もまた有利

市技連会の試算によると、水稲  
 の平均所得は十、当り六万九千三  
 百円で、米の代りに特定作  
 物の小麦を作った場合、奨励金を  
 加えて十、所得は六万四千円とな  
 り米作りより五千三百円の減収で  
 すが、実えんどうを作った場合の  
 所得は二十万五千円となり、米作  
 よりも十三万五千円有利になっ  
 ています。

## 消費者にも必要

### 食糧管理制度

米の生産調整は米作農家に限  
 たことではなく、消費者にとつて  
 も極めて重要な要素を含んでいま  
 す。

わが国の食糧管理制度は本来米  
 の生産農家が安心して生産できる

ようにすると共に消費者にもいつ  
 でも同じ価格で主食の配給を受け  
 られるという食糧の確保と国民生  
 活の安定上重要な制度ですが、い  
 まのままでは過剰米が増えると言  
 制度の維持が困難になるのです。

### 点

第二次米の生産調整  
 とでもいうべき「水田  
 利用再編対策」が今後  
 十年間にわたって実施

### 焦

される。農協の国で米を作ら  
 せない対策だから、みかんや  
 畜産に引続き、米まで安定作  
 物でなくなるうとしている。

そこで市内米作農家はどの  
 対策にどう対応しようとして  
 いるのか。八郷信夫さん（八  
 郷一五歳）は「食糧制度は守  
 らねばならない」と前置きし  
 ながらも「八郷の水田はほと  
 んどが乾田たんぼであり転作  
 しようにも溜田では転作は不  
 可能です。構造改善事業など  
 の地区に転作はすすめてはし  
 い」という。

また、赤坂吾一さん（桑原  
 城一四歳）は、メロン育苗の  
 手を休めながら「多田たんぼ  
 を全部転作しても足りないよ  
 うな目標面積なんて大きすぎ  
 る。一年ぐらいいは何かでき  
 るとしても米からの収入源を  
 同でカバーする問題ですね  
 メロンだってもうこれ以上は  
 作れません」と転作物の価  
 格不安を語る。

さしあたり、市農業機関団  
 体が一致協力して稲作農家を  
 どのように誘導するかがカギ  
 となろう。



# 松田進さん安らかに しめやかに市葬

六百余人が  
参列

名譽市民、元阿久根市長松田進さんの市葬は去る一月十三日、市民会館に約六百余人の市民参列のもとに、しめやかに行なわれました。

その日午後一時、故人をしのぶサイレンの吹き鳴らしを合図に御霊は本町の自宅からパトカー先導で会場の市民会館へ向いました。

「従六位」叙位も伝達

会場は花輪で飾られ、故人の遺徳をしのんでつめかけた市民と市外の関係者で埋まっていました。

市葬に先立ち、叙位の伝達が行なわれました。叙位は故人のご功績に対し、総理大臣がさずけるもので「従六位」が与えられ、会場



叙位の伝達を受ける松田夫人

で、坂元市長から松田ミチ夫人に伝達され故人の霊前にささげられました。

式はまず葬送曲（ベートーベン）の流れる中で市女子職員十名によって献灯がなされた後、葬儀委員

松田さんは旧年十二月二十九日午前一時三十分、心不全のため八十三歳で永眠されたのでした。

松田さんは昭和二十二年阿久根町長に就任され、以来三期十二年市政を担当され、戦災の郷土を復興し、今日の阿久根市への基礎を築いていただいたのでした。

戦後は食糧確保



## 松田さんをしのんで

大丸角 虎藏

私は松田さん十二年間仕え、うち八半間は総務課長でしたが、市長という意識をひき出しにせず、とにかくつき合いよく、なんでも話せる

その上に水道事業に例を見るように卓越した先見性をお持ちの方でした。

阿久根市の整備、三笠町との合併、健全財政の堅持、どれをとっても松田さんの遺徳がしのばれるものばかりです。

### 菊花をそなえて

長（坂元市長）、ご遺族の献花に引続き、各機関団体代表者が遺影の前に献花し、更に参列者全員が白と黄色の菊の花をそなえながら手を合わせ松田進さんとお別れを惜しみました。



御霊にお別れする参列者

の整備を促進され、農業振興関係でもたくさんの実績が残っています。松田さんのご遺業は未長く阿久根市民の心に残ることでしょう

## 税の知識シリーズ②

昭和五十二年分所得税の確定申告と納税の期間は二月十六日から三月十五日までとなっています。

期限間近になると税務署窓口が混雑し、落ち着いて相談ができなかったり、長い時間待っていただくようなことにもなりますので、申告はできるだけ早く済ませましょう。

### 主な所得控除一覧

## 確定申告はじまる

所得控除の種類	控除額等
基礎控除	29万円
配偶者控除	29万円
老人配偶者控除	35万円
扶養控除	1人29万円
老人扶養控除	1人35万円
障害者控除	1人23万円
特別障害者控除	1人31万円
老年者控除	23万円

所得控除の種類	控除額等
寡婦控除	23万円
勤労学生控除	23万円
社会保険料控除	支払額の全額
生命保険料控除	(最高)5万円
損害保険料控除	(短期最高)3千円 (長期最高)1万5千円 (合計最高限度)1万6千円
医療費控除	(最高)200万円
雑損控除	被害金額が所得金額の $\frac{1}{10}$ を超える時→そのこえる部分

# 式初出防消

## 動作きびきび市中行進

### 黒崎前団長ら表彰

恒例の消防団出初め式は一月六日、寒風吹きすさぶ中で行なわれました。この日市民会館前には市内二十四分団から消防団員三百六十四人消防車二十七台が勢ぞろいし、分団ごとの観閲や



市中行進する消防団

中央、折口両分団の模範操法のもと、市中行進にうつり、かねての消火作業や救急活動でみせる威勢

のよい動作に見物の市民は拍手をおくりました。出初め式の見どころはなんとといっても一斉放水のデモンストレーションです。各分団の消防車が高松川べりに勢ぞろいし、打上げ花火の合図と同時に機関を始動し一斉に放水を行なうのですが、ここにも日頃団員の訓練の成果が現われていました。当日は消防庁長官表彰の伝達や優良団

員 永年勤続表彰も行なわれましたが、前本部団長黒崎定男さん（二十年勤続）、前本部副団長神之田徳美さん（勤続二十二年）に対しては特別功績として市長表彰も行なわれました。

なお十五年以上勤続して退団された方に贈られる消防庁長官表彰（銀杯）者は次の方々でした。  
黒崎定男・神之田徳美・花田静夫  
神之田悦男・山口一人・前田司・田上紀昭・上野時義・寺脇久・松木清茂・川畑栄政・寺地留志・尾上永義・谷口住男・赤坂吾一・兒玉末廣。

## 詩碑を建て市に寄贈

### 東京在住の東源蔵さん

忘れ得ぬ故郷を想う気持ちを詩碑に託し、国民宿舎公園の景勝の地に建て市に寄贈したこの人は東源蔵さん七十三歳です。

東さんは市内放留出身で阿久根

小学校を卒業後、大正十三年に上京し、日本大学を卒業後国鉄本会社に勤務、その後鉄道弘済会本部に勤められた後、現在は東京都国分



自筆の詩碑と東源蔵さん

寺市において東雲書道会の会長をされている方です。自然石の中に刻まれた碑文は「危嶺乱立大溝間」と詠んだ頼山陽の詩で東さんの筆によるものです。

## これでよいのか 漁港の利用

最近レジャーブームトやつり舟などが増加し、漁港を管理している市側工事費用守って正しい警備を呼びかけています。特に阿久根港を基地とする遊漁者の方のモーターボート、つり舟などが急激に増加し、漁業を職業としておられる方の船との間にトラブルも起こっています。

せまい港を有効に使い、お互いに秩序ある漁港管理を心がけたいものです。特にシケの時など警備方法が適当でなく、船つき場を有効に使えないばかりか隣の船に当たって被害を与えたりします。

漁港管理条例では、荷役以外は横づけを禁止しているほか、繋船の方法としてロープで前後を固定するなど規定しています。

また漁港施設内の緑地帯などの無断使用も見受けられますので、公共用地はお互いに大切に目的どおり正しく使いたいものです。



## 誕生 おめでと

出生児	保護者	区名
山口 涼子	源次(一橋)	
入尾野瑞恵	光義(梅)	
牛之濱公司	和範(上野)	
田中 美和	末義(新町)	
川畑 美代子	實(折口東)	
白帆 政文	政明(弓木野)	
中野 重由美	清市(高松)	
倉津 絵理	時彦(倉津)	
岩崎 美紀子	安博(上野)	
福水 隆馬	恵三(上桑)	
中村 綱代	道夫(尾崎)	
榮瀬 裕子	紀幸(段)	
園田 美穂	正信(馬場)	
梶尾 俊輔	利文(高之口)	
秀平 吉崇	光弘(浦)	
神之田和幸	優(中塚敷)	
坂口 友貴	一良(新之下)	
跡上 勝久	久美(黒之浜)	
園田 みどり	義美(大栗川)	
小高 真由美	清一(深田)	
小藤 さゆり	真(小池)	
石原 君代	千代年(大池)	
八郷 康敏	大(八郷)	
筒 真理子	研(筒田)	
京田 伸也	吉昭(瀬之上)	

## 交通専門指導員



新しい交通専門指導員に尾上重義さん(60)が就任されました。

# 市民憲章を発表

## 第3回社会教育大会 住みよい社会を目指して



市民憲章発表する阿久根小三年生

表彰を受けました。

表彰に続き分散会と芸能発表があったあと、小学三年生十一人の朗読による市民憲章が発表され、会場の拍手を受けていました。

「地域社会の自治能力を高め、住みよい明るい社会を築くために地域における奉仕活動をどのように進めたらよいか」をテーマに、一月二十八日市民会館で第三回社会教育大会が開かれ、環境美化など五つの分散会で、熱心な討論が行われました。

会に先立ち社会教育に功勞のあった前社会教育指導員の新坂邦さんが個人表彰を受け、上達矢婦人学級と炬高輪者学級が団体表彰を受けたほか、花いっぱいコンクールの表彰も行われ、特選に白鷺高齢者学級・下村子供会、吉里長寿会、段高齢者学級の三団体が選ばれ、山下馬場高齢者学級など六団体が入選に、飛松老人クラブなど三団体が努力賞にそれぞれ選ばれ

全体会では分散会での意見などが報告されました。このなかで環境美化の分散会では、墓地や神社の清掃作業をはじめ、桜の木植樹作業やバス待合所を造った大川島高齢者学級の事例発表が報告され施設整備の分散会では、地域住民

の奉仕と焼出金で鳥居と運動場をつくった桐野地区など、住民が自分たちでできる施設の整備に取り組んでいる事例が報告されました。結局、他人まかせでなく、自分たちでできることは自主的にやる必要があると意見集約しました。

## 手づくりの自然食品

### 好評の脇本黒砂糖

脇本地区で栽培されているサトウキビから精製される黒砂糖が、新しい阿久根名産として脚光を浴びています。市内おみやげ店での販売とともに、北九州や遠くは広島あたりからの引合いもあり、自然食品のよさが見直されています。さとうきびは一時は主要な畑作物でしたが、現在は三輪程度しか

栽培されています。製法は従来と変わらず、きびを絞って汁を出し底の広い釜で煮詰め、きびの葉などの浮遊物を分離するために少量の石灰を入れるほかは、全く添加



できあがり手づくり黒砂糖

物を入れない自然食品です。

市内でただ一か所の製糖工場となつている松本製糖工場は、伝統の味を守りながら、新しい阿久根名産づくりに意欲的です。

御冥福を  
お祈りします

十二月分

川畑	アサノ	(新町)俊信
花田	助二	(的場)芳富
小園	ハツエ	(尾原)通則
栗林	長蔵	(羽田)キヤ
大田	庄吉	(段)敏子
田中	ワカノ	(町)四男
鶴岡	太次郎	(尻中)フイケサ
池田	秋栄	(町)栄二
久留主	イセノ	(遠)矢蔵
植村	重吉	(馬場)ワイ
倉津	清吉	(倉津)千晴
田中	タカ	(遠)矢生作
田上	政義	(大丸)テル
儀門	カオ	(段)スミエ
河南	金男	(町)壽
田中	キセ	(段)マス子
徳田	林太郎	(木佐木野)松雄
田嶋	三郎	(折口東)ハルノ
根比	ハツエ	(大林)清人
浜崎	庄助	(戸)貞雄
矢次郎	庄市	(佐島)六治
中原	厚	(中屋敷)ナツエ
松田	進	(宮原)ナミ
清水	キナイ	(町)道
吉川	イセノ	(遠)矢盛利
		(上野)イシ

#### 所得税確定申告

とき 三月六/八日午前九時半/午後四時まで  
ところ 阿久根商工会議所

ひろるば

寒風をついて 豊漁祈願の声  
浜町でエビス祭



エビス様を抱いて歩く浜町英洋青年団

「今年も大漁で事故のないように」と、一月十日市内各地で「エビス祭」が行われましたが、三年の伝統を誇る浜町のエビス祭では、漁民たちがエビス様に送神歌などを奉納し、豊漁と航海の安全を祈願しました。

十二月三十一日、戸柱神社下のほこらから連れ出されたエビス様は、一年に一度の化粧直しをして講宿の坂元園義さん方で正月。エビス祭の一月十日夜は、公民館に漁民たちが集まって酒盛り。エビス様も公民館に移され、漁民たちから精一杯の歓待を受け、浜町英洋青年団（会員四十六人）が送神歌として「よいこん節」を奉納したあと、男女二体のエビス様は大提灯と旗を先頭に、青年たちが肩に担ぎ町内を練り歩きました。



益金を寄付する高校生たち

このあと、いつもはおけに入れた、海岸から対岸の戸柱神社まで泳いで渡すことにしています。同夜は海もシケで、雪が降りそうな悪天候。そこで、港橋からファンドンひとりの青年たちがエビス様を抱き、寒風のなかを豊漁祈願の掛け声も威勢よく、戸柱神社下のほこらに安置しました。エビス様を海を泳いで渡す思惑は珍しく、漁民たちが高で不慮の

ひろるば

恵まれない人たちにとパーティー益金を寄付  
「お年寄りや身障者のために役立ててください」と、阿久根ロケットンロールダンスクラブは、このほど市長家を訪れ、ダンスパーティーの益金二万円を市社会福祉協議会に寄付しました。同クラブはバンドの好きな阿久根市出身の高校生で組織されているもので、会員は約四十人。十二月にマリンスポルでダンスパーティーを開き、その益金を寄付したものです。ダンスパーティーには約百五十人の高校生が参加、なれないステップを踏みながらも、ダンスを通じてお互いの交流を深めていきました。

伝統的な奉仕作業  
高校生たちが先輩から受け継いだ奉仕作業の伝統を守って、毎年聖園老人ホームの清掃作業を手伝い、お年寄りたちに喜ばれています。老人ホームの清掃作業を手伝っているのは川内実業高校の阿久根市出身の男子生徒十四人。昨年暮れの十二月二十六日にも、聖園老人ホームを訪れ、清掃作業の奉仕を申し出て、老人ホームの関係者たちは喜んでいました。同校の阿久根市出身者は「僕たちも社会の一員、少しでも社会に役立ちたい」と、三年前から毎年年に二回、聖園老人ホームを訪問し、畳を干したりふき掃除を手伝っているもので、伝統的な美風となっています。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

- 香典返し寄付(敬称略)
- 根比清治(大林) 河南喬(本町) 田島ハルノ(折口東) 濱崎六治(佐海) 大毛健一郎(波留) 藤栗光彦(佐島) 川畑園(川畑中) 古川イシ(上野)
- 尻無金四郎(尻無中) 柳田武雄(高松) 峯治志(波留) 松下秀志(尻無上) 牛之浜八助(牛之浜) 下田隼人(新町) 濱川義一(大丸) 寺地シヲ(尻上) 松元伸蔵(浜町) 松永徳美(牛之浜)

在宅医さん

- ▲午前九時から午後五時まで
- 二月十九日
  - 北国医院 ③0016 (本町)
  - 中村病院 ③0015 (大丸)
  - 果木医院 ③0200 (下村)
- 二月二十六日
  - 堀切医院 ③0263 (高松)
  - 喜多医院 ③0038 (大丸)
  - 石原医院 ③0045 (橋之東)
- 三月五日
  - 阿久根内科 ③0578 (新町)
  - 内山病院 ③1551 (高松)
  - 濱之上医院 ③2600 (脇馬場)
- 三月十二日

# 上野が優勝 阿小で親子駅伝大会

阿久根小学校PTAでは一月二十二日、初めての地区対抗親子駅伝大会を行い、上野チームが48分20秒で優勝しました。

大会には十二チームが参加し、コースは同校グラウンドから高松大曲、波留、大尾を経て牧内で折返し、ヤナセ園料前から上松市宮住宅上の市道をMBC放送所下を経て同校グラウンドまでの十五区間13・2km。

レースは終始、上野がトップに立ち、序盤戦では新町、大丸、高松Aが二位争いを展開していき、八区付近で新町が脱落、興



子供たちがお父さんたちにバトンタッチ



農業委員会長に奥平さん

昨年十一月十三日、早水千秋農業委員会長の死去に伴い、後任に奥平慶蔵さん(仲仁田・59歳)が就任しました。  
奥平さんは昭和三十五年から大期十八年農業委員を務め、これまで市社会福祉協議会長などを歴任し、現在、市議会議員として地方自治発展のため活躍されています。

味は二位争いとなり、九区中継点で高松Aがリード、そのまま逃げ切りました。成績は次のとおり。  
①上野48分20秒②高松A49分42秒③大丸49分59秒④新⑤馬⑥新町⑦波留A⑧波留B⑨寺山⑩本町⑪大尾⑫高松B

## 山下Aに栄冠

### 山下校区親子駅伝大会

第一回山下校区親子駅伝大会は一月十五日、同校区内の十二区間7・3kmで行われ、同校区の各小組合から七チームが参加して健闘を競い、山下Aチームが21分25秒で優勝しました。

レースは一區で最下位の久保下チームが二区でトップに進出し、快走を続けていましたが、八区付近で山下Aチームがトップを奪いそのままゴールイン。レースにはお父さんやお母さんたちも参加し沿道は黄色い声援でいっぱいでした。



山下小前を一斉にスタート

た。成績は次のとおり。  
①山下A②久保下③上遠矢A④山下C⑤山下B⑥新城⑦上遠矢B



子供たちに負けまいと頑張るお父さんたち

## 中学生Aが優勝

### 瀬之上親子駅伝大会

瀬之上では小組合ごとでチームを編成し、一月七日同区内の七区間五kmで親子駅伝大会を行い、中学生Aチームが優勝しました。

レースは一區で中川原がトップに立ち、快調なスタートをみせましたが、二区で中学生Aが首位を奪い、そのままゴールイン。

優勝宣言をしていた消防チームは、スタートの数分間をトップで快走したものの、日頃の運動不足がたたって一區中継点で六位でバトンタッチ、そのまま六位を死守してゴールインしました。

成績は次のとおりでした。

- ①中学生A②京田・黒十③中学生B④中川原⑤平床⑥消防⑦京田

## 保険業務相談開設

厚生年金・国民年金・健康保険などの社会保険相談所が二月二十三日午前10時から午後四時まで、市民会館で開かれます。

病気などで退職後の治療や年金についてどうしたらよいかお困りの方、前に働いていた会社で年金を掛けていたかどうかわからない方、厚生年金の被保険者証を二枚以上お持ちの方、将来年金がもらえるかどうか不安に思っている方、そのほか年金などの手続き書類も用意しており、川内社会保健事務所から専門家が来て相談を受けます。ぜひこの機会をご利用ください。

## 国道3号線通行規制

川内市高城町砂丘、三月二日から三月十四日まで。

- 上園医院 ③1055 (本町)
- 林 病院 ③0836 (本町)
- 平 医院 ⑤2626 (古里)
- 三月十九日
- 北国医院 ②0016 (本町)
- 田中医院 ③0553 (大丸)
- 黒木医院 ⑥0200 (下村)
- 三月二十一日
- 福切医院 ②0263 (高松)
- 中村医院 ③0015 (大丸)
- 石原医院 ⑤0045 (橋之東)



# お知らせ

## 計量器の定期検査

計量法で定められた年一回の計量器定期検査です。必ず検査を受けて、正しい取引をしましょう

月日	時間	検査場所
3月15日	10:00~14:00	大川出張所
"	14:30~15:30	牛之浜公民館
3月16日	10:00~11:30	高ノ口公民館
"	13:00~15:00	三笠支所
3月17日	10:00~15:00	"
3月22日~24日	10:00~15:00	市民会館

## お年五年賀はがき

### 賞品引替えは早目に

ことしのお正月に市内の各家庭に配達された年賀状は531,261通、一世帯当たり57.3通、市民ひとりあたり17.4通にあたります。

年に一度お互い交す心温まる年賀状が当選していたら更にうれしさがひろがるものです。賞品の引替期間は1月20日

### お年五つき郵便はがきの当選番号

までとなって  
いますが、早  
目に郵便局窓  
口でお引替え  
ください。  
年賀状で住  
所録の整理も  
いたしましよ  
う。

等	賞品	各組共通	当選番号		
			A組	B組	
1等	ラジオ付き カセットテ レプレーコ ダー	各組共通	758249	179725	
			852497	477137	
2等	腕時計	各組共通	508437	19022	
			3等	手紙セット	各組共通
4等	お年玉 切手シート	各組共通	2261	299	17



## めずらしい五ツ子文旦

平田さ  
んは文旦  
づくり二  
十年のベ  
テラン果  
樹農家、  
他の晩柑  
も栽培し  
ています

めずらしい五ツ子文旦  
文旦が鈴鳴り、一枝に五個、い

ずれも一個八百gの標準タイプで  
つぶぞろい。育ての親は平田番さ  
ん(鶴川内橋手)です。



## バトミントン大会

市バトミントン協会(会長野田  
哲三郎)では教育委員会の後援で  
第一回大会を二月十九日(日曜日)  
九時から市の体育館で開催します。  
参加対象は中学生・高校生・一  
般となっていて、各職場・団体・  
家族ごと二人一組のペアを組みト  
ーナメント方式の試合とし、個人  
戦も男女にわけトーナメント方式  
の試合とします。

## 職業訓練生募集

県立中央専修職業訓練校(給良

郡給良町西野田一二〇番地、電  
話09956(2247)では中高  
年層者の訓練生を募集しています。

訓練の職種と定数は、自動車運  
転科三〇人、プロック建築科三〇  
人、洋服科十五人で、訓練期間は  
自動車運転科三カ月、プロック建

築科六カ月、洋服科一カ年で訓練  
期間中は手当又は雇用保険がら  
える上に受講料は無料です。

受付期間は二月十日から三月十  
日まで、くわしいことは職業安定  
所(電話0528)でもわかり  
ます。

百十二万九千円の浄財集まる  
歳末たすけあい募金  
みんなそろって明るいお正月  
を。のスローガンのもとに、市社  
会福祉協議会がご  
協力をお願いした  
歳末たすけあい募  
金の結果は別表の  
とおり百十一万九  
千二百七十四の募  
金をいただきました。  
ほんとうにあり  
がとうございました。  
募金をいただいた  
た浄財は、阿久根  
療養所結核入院患  
者、老人ホーム、  
特別養護老人ホー  
ム、独居老人、ね  
たきり老人、一般  
生活困窮者、父子  
世帯、一年以上の  
長期入院療養者、  
更に市外の施設入

募 金 (収 入)		配 分 (支 出)	
区 分	金額	配 分 先	金額
一般募金	360810	独居老人	150000
特志募金	557630	ねたきり老人	212500
		一般生活困窮者	200000
小原豊光	18138	交通災害海難等遺児	3500
杉の子会阿久根支部	19480	その他遺児	11500
阿久根市青年商工クラブ	57940	父子世帯	56500
ボーイスカウト阿久根隊	26659	一年以上長期療養者	31500
前年度繰越金	58470	老人ホーム	109500
阿久根市ロックンロール ダンシングクラブ	20000	阿久根療養所 (結核)入院者	34500
		各種施設入所児	51000
		"入所者	40500
		事務諸経費	26772
		翌年度へ繰越金	191355
合 計	1,119,127	合 計	1,119,127

所者でお正月に家に帰れなかった  
方々四三九名に対し、市の関係者  
が直接お見舞い、励ましをしたり、  
地区担当の民生委員がお見舞いを届  
けたりしました。